



あびスポッチャー

安平町のスポーツ×カルチャー



町では、国の方針に基づき、部活動を学校から地域に展開することで、子どもから大人までがスポーツや文化を楽しめる環境づくりに取り組んでおり、令和7年度で部活動の地域展開は完了しました。

今回はアビースポーツクラブに所属している団体をご紹介します。

■ 厚真陸上クラブ

追分地区や厚真町を拠点に、小学生から中学生までの10名で活動する「厚真陸上クラブ」。

指導を務めるのは梶谷 明広さんとその奥様のみゆきさんです。

明広さんは、長年中学校で陸上部の顧問を務めてきたベテランで、メインコーチを担当。みゆきさんは体育大学出身で、陸上専門の経験者です。短距離種目、長距離種目にそれぞれ取り組んできたお二人が、競技経験を生かして指導されています。



クラブで大切にしているのは、子どもたちの自主性で「練習場所や参加する日は自分のペースで選んでほしい。部活のように全員で同じ日に活動してメニューをこなすのも良いけれど、クラブになったので自分のペースでやっても良いと思っている。これまで教えた内容から子ども自身がその日のメニューを組み立てることもあります」というのが明広コーチの現在の指導方針。

また、明広コーチが選手たちに望むのは「いい負け方（＝納得のいく負け方）」で「全道や全国で最後まで勝ち残れるのは一人だけ。だからこそ自分の目標とするステージで力を出し切ることが大事」と考えており、全てを出し切り負けた子には「全身全霊だったね」「それでもいいと思う」と伝えることで、支えてくれる人や場所への感謝を大切にできる選手を育てようと、日々指導されています。

■ 主将 早来学園8年生 まさきさん

「走ることが好きで陸上を始めました。走っているときの競い合う瞬間が好きです」と話すのは、主将のまさきさん。陸上を始めてから「走ること」だけではなく「想像以上に頭を使うこと」に驚いたと言ひ、スタートダッシュの仕方や後半の伸びなど、以前よりも考えて走っているそうです。

頑張っているのは諦めないようにすることで「自分でできないって思っちゃうとできなくなっちゃう気がして」と練習に来ることが嫌になった経験も正直に教えてくれました。



キャプテンを務めることはプレッシャーだったと言うまさきさんですが「キャプテンになれることなんてそうそうないからのちに生かせたらと思う」と語り、同世代の読者に向けては「やれないじゃなくて、頑張ることに意味があると思う。自分のためになると思って頑張った結果、楽しいことが待っているかも知れないし」と話してくれました。



「厚真陸上クラブ」
公式ホームページ

このような取り組みを通じて、スポーツ・文化活動を推進しています。持続可能なスポーツ・文化環境をつくるため、日々挑戦を続けていますので、引き続きご支援とご協力をよろしくお願いします。

詳しくは
こちらへ



公式HP



公式LINE

問合せ：安平町教育委員会事務局 社会教育グループ
☎ 29 7036

受託者：NPO法人アビースポーツクラブ